

東京農工大学 大学院農学研究院 環境資源物質科学部門
助教 教員公募要項【女性限定公募】

【公募概要】

学長リーダーシップによるダイバーシティとインクルージョン実現の一環である「女性教員の計画的増員」方針に基づき、下記の通り、「女性教員キャリアデザイン制度」による任期の定めのない助教を公募いたします。なお、今回は女性限定公募といたします。

「女性教員キャリアデザイン制度」により採用された女性研究者は、独立した研究室を運営でき、研究室の立ち上げに必要なスタートアップ資金配分、研究環境構築支援、メンターの配置を行います。また女性未来育成機構による各種学内支援制度を活用することによりライフイベント中の支援を受けることができます。

さらには、研究・教育を推進する経験を重ねた採用5年後に上位職選考を実施します。なお不適格となった場合、6年目又は7年目に再選考を受ける必要があります（ライフイベントにより研究を中断した場合は、上位職選考及び再選考の時期を延期できます）。

【募集職種および人員】 助教 1名

【雇用形態】 常勤 任期の定めなし 裁量労働制（7時間45分/日）

【着任時期】 2026年4月1日以降、できるだけ早い時期

【専門分野】 木質バイオマス科学関連分野

環境資源物質科学部門では、木質資源科学や木質材料科学を専門領域として、木質バイオマスの有効利用に関する教育・研究を行っています。本公募において、木材学における木材保存、木材防腐、木材腐朽、木造建築物の長寿命化などの研究において、優れた業績がある教員を募集します。

【求められる活動・人物像】

<研究面>

- 1) 木質バイオマスの有効利用のために、研究推進ができる人
- 2) 分野横断的な共同研究に、協調性をもって参画できる人
- 3) 国際的な研究の実施に意欲をもつ人を歓迎します。

<教育面>

- 1) 学部、大学院での学生への講義（森林資源科学、木質資源利用学、環境資源科学実験 等）
- 2) 学部、大学院学生への研究指導

3) 自身がロールモデルとなり、女子学生の博士後期課程進学を促すことを期待します。

<運営面>

1) 学内業務や社会貢献を積極的に担い、リーダーシップを発揮できる人

【応募資格】

- ・博士の学位を有している人。
- ・原則として3年以上の研究機関等における勤務経験を有する人。
- ・日本語での授業が可能なこと。ただし国籍は問いません。

【所属機関、勤務地】

所 属：東京農工大学 大学院農学研究院 環境資源物質科学部門

(兼務) 女性未来育成機構兼務

機関名：国立大学法人東京農工大学

勤務地：府中キャンパス 〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8

【給与】

年俸制、経歴・職位・職務内容に応じて本学の規程により決定(賞与および各種手当あり)

【応募方法】

- ・電子メールで応募してください。
電子メールのタイトルは「**環境資源物質科学女性教員公募書類**」としてください。受領後、数日以内に確認メールを送付します。
- ・提出先：東京農工大学 大学院農学研究院 教授 松下泰幸
E-mail : fx7789@go.tuat.ac.jp
- ・以下の<応募書類> (1) ~ (7) までを一つのPDF ファイルにまとめ、項目 (8) はすべてのファイルをzip形式として一つのフォルダにまとめて、メールに添付してください。最大ファイル容量 20 MB です。(ファイル容量が大きい場合は、メールを複数回に分けて送付してください。)
- ・英文での申請も可能です。

<応募書類>

(1) 履歴書(本学が指定する様式をダウンロードして使用)

<https://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/rirekisho.html>

(2) 研究業績目録：以下の項目に分類して年代順に並べること。著者名リストにある応募者名にアンダーラインを付し、責任著者に*を付すこと。査読を経ている論考には「<

査読有」と明記してください。

- (a) 原著論文
 - (b) 著書
 - (c) 総説・解説・プロシーディング・書評・紀要
- (3) これまでの研究成果の概要（図表を含め A4 用紙 2 頁以内）
 - (4) 着任後の研究計画の概要（図表を含め A4 用紙 2 頁以内）
 - (5) 教育実績および教育に関する抱負（A4 用紙 1 頁以内）
 - (6) 研究費取得状況、基調・招待・依頼講演、特許、受賞、社会活動などの特記事項
 - (7) 応募者について所見を求め得る 2 名の氏名・連絡先（電話番号、電子メールアドレスを含むこと）
 - (8) (2) の研究業績目録に記載した論文等のうち、主要論文 5 編の PDF

【応募締切】 2025 年 10 月 30 日

応募に係る個人情報、個人情報保護法及び本学規定に基づいて適切な取扱いをいたします。応募の事実是非公開としますが、選考上必要な範囲において照会等を行うことがあります。また、応募書類は返却しません。

【選考方法】

書類選考のうえ、面接を実施します。面接の日時や準備いただくもの等は、対象者に電子メールで連絡します。面接にかかる交通費・滞在費は、自己負担となります。

【その他】

- 1) この取り組みは「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」（昭和 47 年法律第 113 号）第 8 条の規定に基づき実施しています。
- 2) 東京農工大学は、男女共同参画を積極的に推進しています。
- 3) 東京農工大学女性未来育成機構 HP (<http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/josei/>)
- 4) 採用後、以下のとおりスタートアップ資金等の支援措置、および、上位職選考の機会が与えられます。

<スタートアップ資金>

スタートアップ資金は 3 年間で合計 300 万円です。教育研究に必要な運営費は毎年予算配分されます。

<ライフイベント支援>

ライフイベント期間中は、女性未来育成機構による各種学内支援制度 (<http://web.tuat.ac.jp/~dan-jo/josei/support.html>) が利用可能です。また女性未来育成機構は、採用された女性教員に助言・サポートを行います。

<上位職選考>

採用後3年目に、進捗状況を確認する中間報告を行います。その後、採用後5年目に上位職選考を行い、採用部局での基準を満たせば上位職にキャリアアップすることができます。なお不適格となった場合は6年目又は7年目に再選考を受ける必要があります（ライフイベントによる休職等の場合、上位職選考及び再選考の時期を延期できます）。上位職の適格基準は、採用後6か月以内に採用部局設置の上位職選考委員会より通知されます。上位職選考及び再選考の結果不適格だった場合も、採用時の職位は保証されます。

- 5) 東京農工大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、職員の採用に際し安全保障上の確認を行っており、確認に必要な情報の提供をお願いしています。審査の結果、規制事項に該当する場合は、希望する教育研究の変更を求める場合があります。また、経済産業省へ許可申請をした結果、不許可の通知があった場合は内定を取り消すことがあります。

【問い合わせ先】

東京農工大学 大学院農学研究院 教授 松下泰幸

E-mail : fx7789@go.tuat.ac.jp 電話 : 042-367-5823